

第1章 富士見市の概要

第1章

富士見市の概要

1. 位置

富士見市は、埼玉県の南西部にあり、都心から30km圏に位置しています。市の東は荒川、びん沼川をはさんでさいたま市、北は川越市及びふじみ野市、西はふじみ野市及び三芳町、南は志木市にそれぞれ接しています。

市の広がり、東西7km、南北6.8kmで、面積は19.77km²となっています。

地形は、南西部の武蔵野台地と北東部の荒川低地に大きく二分されます。南西部は大半が住宅地と畑作地帯が広がり、北東部は水田地帯で市の中心を新河岸川が流れています。

鉄道は東武東上線が市の南北方向を、道路は国道254号バイパス（旧富士見川越有料道路）が南北を縦断し、浦和所沢バイパス（国道463・254号）が東西方向を横断しています。

富士見市の広域的な位置





2. あゆみ

明治22年に町村制が施行され、鶴瀬村、南畑村、水谷村の各村が誕生しました。

大正3年には、東武東上線が開通し、鶴瀬駅が開設され、これまで川越と江戸を結ぶ重要な交通輸送路として発展した新河岸川の舟運は鉄道の開通や河川改修などにより、昭和の初期に廃止となりました。

昭和31年には3村の合併により富士見村が誕生しました。富士見とは、3村のいずれからも眺望のすばらしい富士山にちなんでつけられました。このころまでは、産業といえば農業が主であり、広大な農地が広がっていました。

昭和32年に、住宅公団(現都市再生機構)鶴瀬第1団地への入居が始まり、このころから宅地開発が活発化し、人口急増の兆しがみられました。昭和39年に富士見町となり、都市化の進展に伴い、教育施設や供給処理施設などの整備が進む中、昭和47年には、県下35番目の市として富士見市が誕生しました。

その後も、昭和48年に浦和所沢バイパス(国道463・254号)が、昭和52年に土地区画整理事業に伴ってみずほ台駅が開設、昭和56年には富士見川越有料道路(国道254号バイパス)も整備され、これらを契機に富士見市のまちの表情は大きく変わっていきました。その後、針ヶ谷、勝瀬、鶴瀬等でも土地区画整理事業が進められ、平成5年には勝瀬原特定土地区画整理事業により新たにふじみ野駅が開設されました。駅周辺には商業施設や高層集合住宅が建ちならび、近年、駅周辺は市内で最も大きな変貌を遂げています。



旧庁舎（昭和40年代撮影）



鶴瀬駅（昭和45年頃撮影）



勝瀬原（昭和48年1月撮影）

3. 人口

本市の人口は、昭和35年10月に12,030人でした。昭和37年には住宅公団(現都市再生機構)鶴瀬第2団地への入居が始まり、また、各地で民間の宅地開発や土地区画整理事業が進んだことから人口が急増し、平成11年には人口が10万人を超え、令和2年10月現在112,127人となっています。

全国的には日本の人口が減少に転じ、埼玉県内でも多くの市町村で人口の減少傾向がみられるなか、本市では微増傾向となっています。

その一方で、少子高齢化は確実に進行しており、昭和35年に高齢化率5.9%だったものが、令和2年では24.4%となっています。

人口密度も年々高くなっており、昭和35年に6.11人/haだったものが、令和2年には56.91人/haとなり、約9倍になっています。

世帯数は、人口に比例して増加していますが、1世帯当り人口は昭和35年に5.3人であったものが、令和2年では2.1人に減少しています。

【人口の推移】

各年10月1日現在

年	計	人 口			世帯数	平均年齢
		増加率	男	女		
昭和 30	10,772	1.2	5,353	5,419	1,854	…
35	12,030	11.7	5,949	6,081	2,268	…
40	23,767	97.6	11,890	11,877	5,904	26.84
45	52,011	118.8	26,014	25,997	14,474	26.37
50	70,391	35.3	35,323	35,068	20,023	26.97
55	79,591	13.1	40,061	39,530	23,606	29.18
60	85,697	7.7	43,071	42,626	26,112	32.4
平 2	94,864	10.7	48,073	46,791	31,428	34.7
7	96,972	2.2	49,035	47,937	34,766	37.2
12	103,247	6.5	51,914	51,333	39,368	39.0
17	104,748	1.5	52,491	52,257	42,010	40.9
22	106,736	1.9	53,134	53,602	44,622	43.0
27	108,102	1.3	53,312	54,790	47,169	44.5
令和 2	112,127	0.4	55,322	56,805	52,931	44.9

注)平均年齢は、昭和60年から小数点第1位までの公表となりました。

資料：国勢調査・統計ふじみ